

各位

会社名 株式会社アルファクス・フード・システム
代表者名 代表取締役社長 田村 隆盛
(コード番号: 3814 東証 JASDAQ)
問合わせ先 上席執行役員 IR・広報室室長 菊本 健司
電話番号 0836-39-5151
URL <https://www.afs.co.jp/>

財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、2020年12月28日付で、開示すべき重要な不備を記載する内部統制報告書を中国財務局長に提出しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 開示すべき重要な不備の概要

当社は、売上計上時期の適切性について、不適切な会計処理が行われた疑いがあることが判明したため、2020年2月7日付で当社と利害関係を有しない外部の専門家によって構成される特別調査委員会を設置しました。

2020年3月16日付で受領した同委員会による調査結果報告等を受け、当社は、2017年9月期以降の売上高及び売上原価の計上時期の修正等、必要と認められる訂正を行うことといたしました。

これらの決算訂正により、修正影響のある2017年9月期から2019年9月期までの有価証券報告書及び2017年9月期第1四半期から2019年9月期第3四半期までの四半期報告書の訂正報告書を提出いたしました。これらの訂正は、当社においてガバナンス体制及び内部統制が不十分であったこと、当社の内部におけるモニタリング体制が不十分であったこと、当社役員及び一部従業員の管理・監督が不十分であったことなどによって発生したものと認識しております。

以上のことから当社は、結果として内部統制が有効に機能していなかったと判断し、開示すべき重要な不備に該当すると判断いたしました。

2. 事業年度末に是正できなかった理由

当社といたしましては、財務諸表に係る内部統制の重要性を認識しており、開示すべき重要な不備を是正するために、特別調査委員会からの指摘・提言を真摯に受け止め、必要な再発防止策を順次実行し、ガバナンス体制及び内部統制の整備・運用を図ってまいりました。

しかしながら、当事業年度末日までに十分な期間を確保することができなかったことから、再発防止策は実行中であり、開示すべき重要な不備について当事業年度末日までに是正を完全に完了することはできませんでした。

3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社は、特別調査委員会からの指摘・提言を真摯に受け止め、以下の再発防止策を順次実行してお

り、引き続きガバナンス体制及び内部統制の整備・運用を図ってまいります。

- (1) 代表取締役社長ら経営陣における適切な会計処理を行うことの重要性に対する認識の徹底と会計処理ルールに対する理解の向上
 - (2) 取締役・取締役会による代表取締役社長の職務執行に対する監視監督機能の強化
 - (3) 監査役監査の深度化
 - (4) 内部監査の強化
 - (5) 管理部の強化
 - (6) 情報伝達、情報共有の不足の解消
 - (7) 新規事業参入時の事業スキーム等の検討
 - (8) 基準や規程、ルールの不備ないし曖昧さの排除と遵守の徹底
 - (9) 内部通報制度の改善
 - (10) 再発防止策の着実な実行を担保するための経営監視体制の構築
- 加えて更に実効性のある再発防止が行えるよう、引き続き内部統制の改善を図ってまいります。

4. 財務諸表等に与える影響

当事業年度末日時点において開示すべき重要な不備に起因する必要な修正は、全て財務諸表に反映しております。

5. 財務諸表の監査報告における監査意見

2020年12月28日付にて、無限定適正意見をいただいております。

以 上